



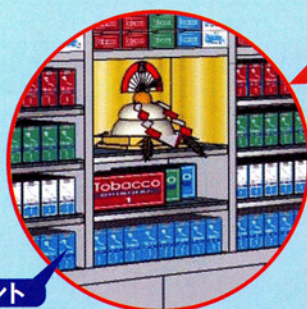
「思わず寄りたい」 お店づくりにチャレンジ【第9回】

テーマ2: 什器編 その4(まとめ)

たばこ対面販売用什器として、ウインドーケース(個装陳列用)とバックケース(カートン収納用)の“陳列・在庫・演出”について効果的な方法および便利な機能を3回にわけてご説明してきました。今回は、限られたスペースを有効的に活用されている売り場の実例を、写真でご紹介します。

バックケース

カートン収納および個装陳列用什器は、棚板に自在性や照明(LED*等)機能があると、効果的な“陳列”やアイデアのある“演出”も表現できます。



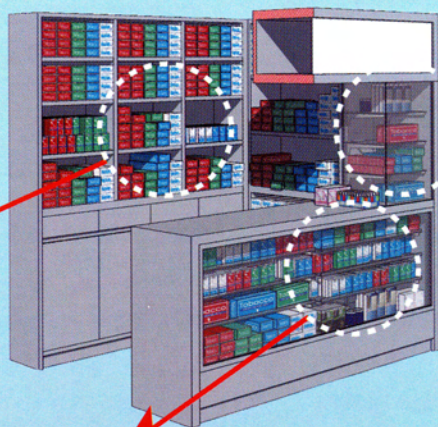
改善のポイント

自在性のある棚板(照明付き)により、中央部分に“演出”スペースを確保。



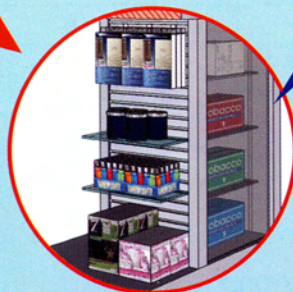
お店のコメント

状況に応じて変化のある陳列や演出ができて、とても便利になりました。自在性のある照明付き棚板にしたおかげです。



ウインドーケース

対面販売用什器は、“間口感・高級感・清潔感”のほかに、特に大切なのは“明るさ”と“ボリューム感”です。さらに“演出”スペースを設けることにより、注目度をよりアップできます。



改善のポイント

ガラス棚の側面に、陳列パネルを設置し、フックや棚板を取り付け。



改善のポイント

ダミー陳列面に内照式バックパネルと中央部に“陳列・演出”用の陳列パネルを設置。



お店のコメント

陳列面を明るくしてダミーが目立つようになりました。陳列パネルにディスプレイ商品を置いたり吊るしたりが簡単にできますので、陳列が楽しみになりました。今は新製品の紹介をしています。

お店のコメント

陳列パネルによって、陳列と演出の両方を立体的に狭い空間で展開できるようになり、見栄えが良くなりました。

*LED・・・発熱がほとんど無いため、たばこ等の品質低下に影響を及ぼさない、省エネ長寿命の照明です。

※上記イラストは、バックケースの説明上、ウインドーケースのらん間看板や、ガラス戸等を一部カットしています。